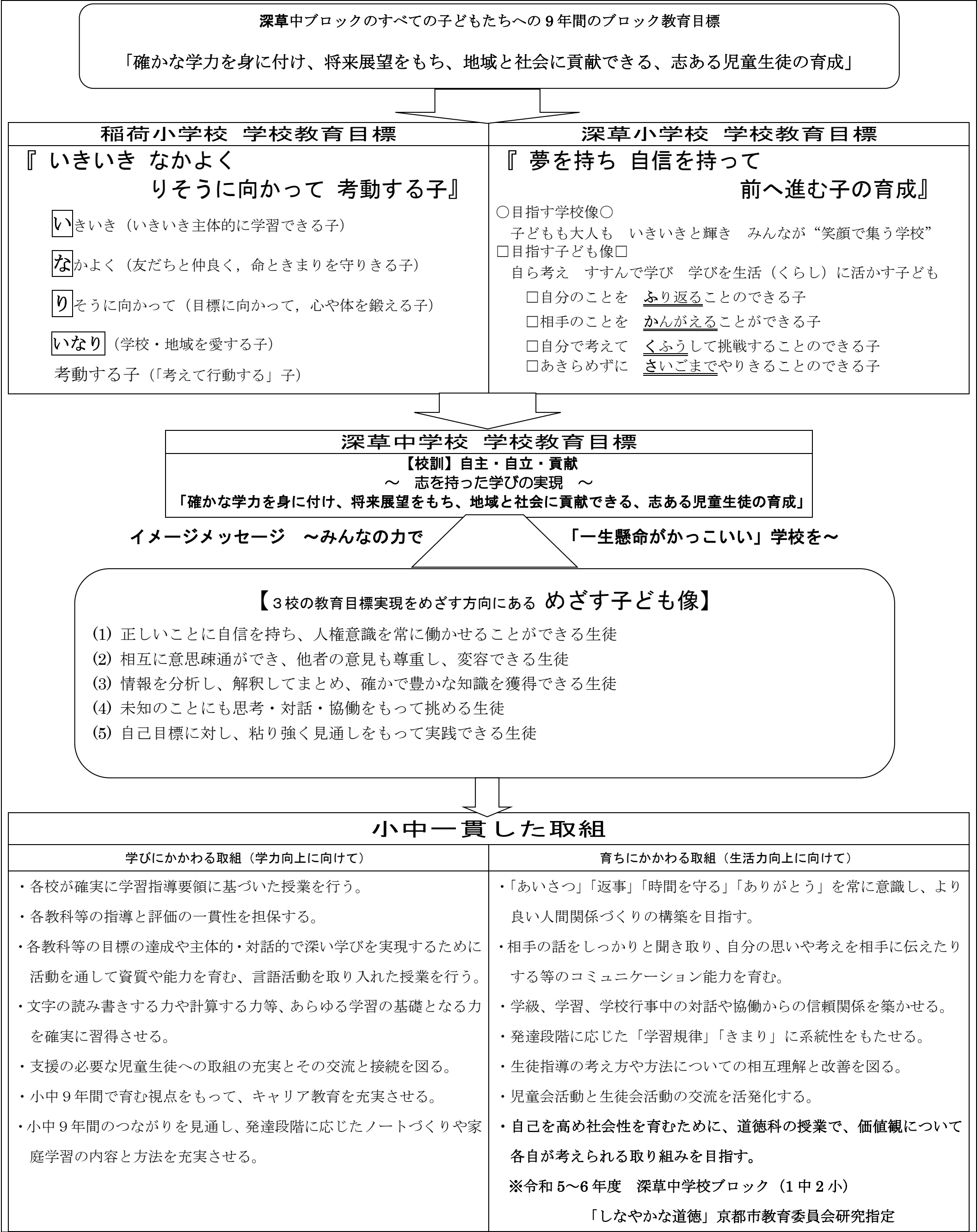


深草中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



深草中学校 学校教育目標

【校訓】自主・自立・貢献
～ 志を持った学びの実現 ～
「確かな学力を身に付け、将来展望をもち、地域と社会に貢献できる、志ある児童生徒の育成」

イメージメッセージ ～みんなの力で

「一生懸命がかっこいい」学校を～

【3校の教育目標実現をめざす方向にある めざす子ども像】

(1)

正しいことに自信を持ち、人権意識を常に働かせることができる生徒

(2)

相互に意思疎通ができ、他者の意見も尊重し、変容できる生徒

(3)

情報を分析し、解釈してまとめ、確かで豊かな知識を獲得できる生徒

(4)

未知のことにも思考・対話・協働をもって挑める生徒

(5)

自己目標に対し、粘り強く見通しをもって実践できる生徒

小中一貫した取組

学びにかかわる取組（学力向上に向けて）

・

各校が確実に学習指導要領に基づいた授業を行う。

・

各教科等の指導と評価の一貫性を担保する。

・

各教科等の目標の達成や主体的・対話的で深い学びを実現するために活動を通して資質や能力を育む、言語活動を取り入れた授業を行う。

・

文字の読み書きする力や計算する力等、あらゆる学習の基礎となる力を確実に習得させる。

・

支援の必要な児童生徒への取組の充実とその交流と接続を図る。

・

小中9年間で育む視点をもって、キャリア教育を充実させる。

・

小中9年間のつながりを見通し、発達段階に応じたノートづくりや家庭学習の内容と方法を充実させる。

育ちにかかわる取組（生活力向上に向けて）

・

「あいさつ」「返事」「時間を守る」「ありがとう」を常に意識し、より良い人間関係づくりの構築を目指す。

・

相手の話をしっかりと聞き取り、自分の思いや考えを相手に伝えたりする等のコミュニケーション能力を育む。

・

学級、学習、学校行事中の対話や協働からの信頼関係を築かせる。

・

発達段階に応じた「学習規律」「きまり」に系統性をもたせる。

・

生徒指導の考え方や方法についての相互理解と改善を図る。

・

児童会活動と生徒会活動の交流を活発化する。

・

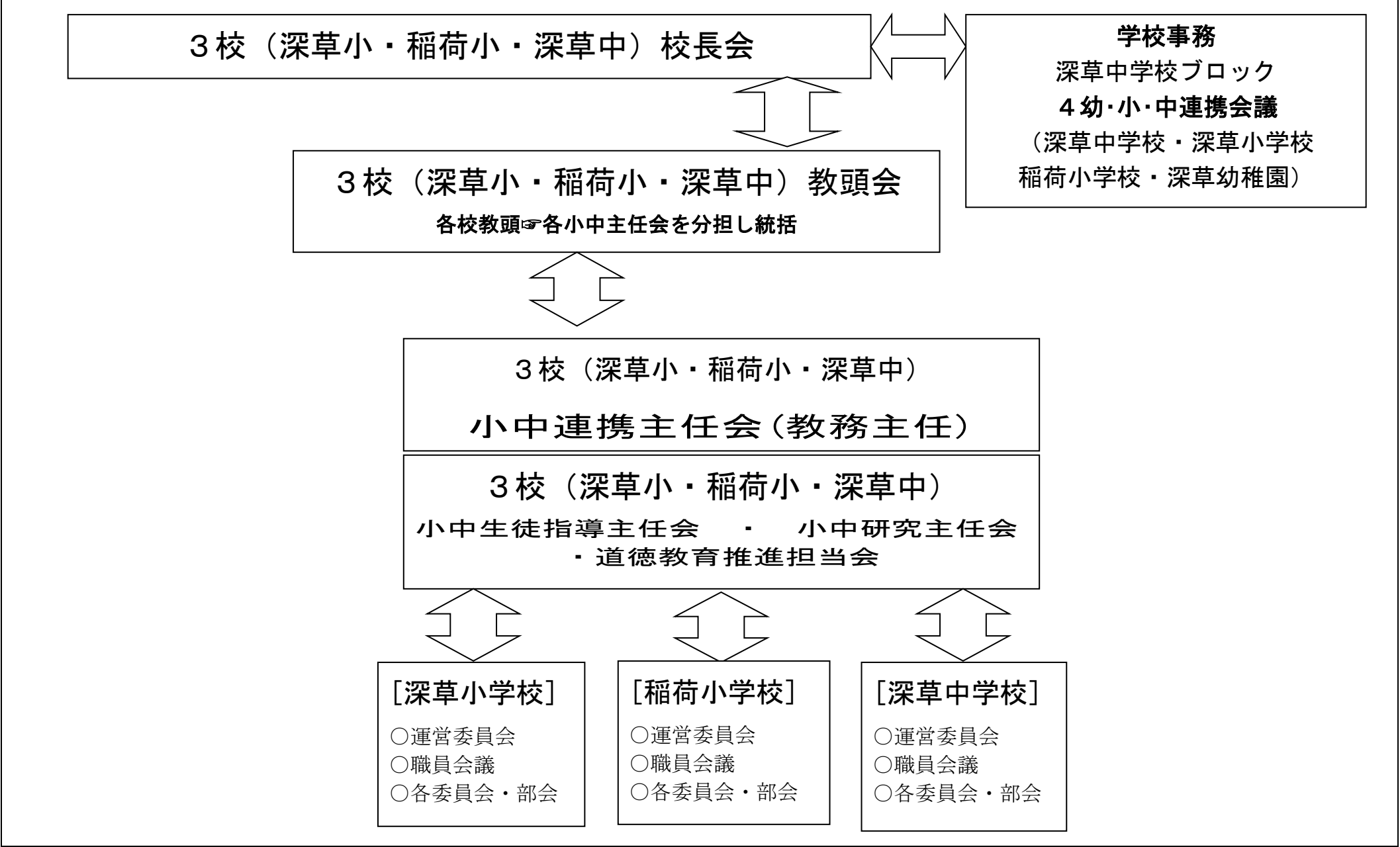
自己を高め社会性を育むために、道徳科の授業で、価値観について各自が考えられる取り組みを目指す。

※

令和5～6年度 深草中学校ブロック（1中2小）

「しなやかな道徳」京都市教育委員会研究指定

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- ・各校の「学校だより」や「学校ホームページ」において、各学校の取組や小中の教育のつながりに関わる記事掲載
- ・PTA本部同士の交流，学校運営協議会の理事同士の交流及び取組紹介
- ・ブロック内（1中2小1幼）で共同して実施できる行事策定を検討する等の機会を設け、PTAや運営協議会レベルにおける絆の構築